

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	R.O	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3年	派遣国	イタリア
派遣大学	ベネチア大学		
期間	2022年 9月 12日～ 2023年 7月 1日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()				
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()				
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○				
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所 ○
	キッチン	◎	冷暖房	暖房のみ○	冷蔵庫 ◎
滞在費	約 (60,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃				
移動	(徒歩と水上バス) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法				

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	50000 円	普通の料理の材料費と外食代 (旅行先での食事含め)
学用品購入費	0 円	すべてオンライン上での資料だった
交通費	3000 円	水上バス代
交際費	15000 円	旅行や友達へのプレゼント
その他	6000 円	娯楽や服などの購入費
合計	74000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

観光地で人が多いので人混みが少なく危ないということはありませんでした。お店が閉まるのが早いので、一部の地域では夜は人が少なかった。ホームレスや物乞いがいます。極たまに観光客が窃盗や詐欺にあたりしたので注意が必要だと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(114380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (ベネチア) 運河がありほかの町とは違う美しさがありました。特にカーニバルの時期の2月やバケーションシーズンにはとても観光客が多く、小さな街は人で溢れていました。周りには様々な島があり、ベネチアとは変わった雰囲気を楽しむことができます。基本的に移動は徒歩でどこへでもいけますが、スーツケースなど重い荷物を持っているときは水上バスを使ったりしました。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ベネチア大学(Ca' Foscari と VIU)	所在地	ベネチア
最寄空港	マルコポーロ空港	空港からの距離	約1時間半
空港⇄大学	(陸上バス・水上バス) *移動手段		
学生数	約21000人(Ca foscari) 約80人	留学生数	全員 (VIU)
学部	Ca' Foscari University of Venice Economics Philosophy and Cultural Heritage Management Environmental Science, Informatics and Statistics Molecular Sciences and Nanosystems Linguistics and Comparative Cultural Studies Asian and North African Studies Humanities Venice International University 特になし *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	国際関係 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業 イタリア語 授業 History of Venice	授業 イタリア語	授業 イタリア語 授業 History of Venice	授業 イタリア語	学外研修 (学校が提供する授業で、ガイド付きで美術館に行ったり、ほかの島に行ったりした)
午後		授業 Global Governance		授業 Global Governance	学外研修 (学校が提供する授業で、ガイド付きで美術館に行ったり、ほかの島に行ったりした)

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					学外研修 (学校が提供する授業で、ガイド付きで美術館に行ったり、ほかの島に行ったりした)
午後	授業 City and Global Climate Governance	授業 Game Theory Analysis 授業 Globalization of Firms	授業 City and Global Climate Governance	授業 Game Theory Analysis 授業 Globalization of Firms	学外研修 (学校が提供する授業で、ガイド付きで美術館に行ったり、ほかの島に行ったりした)

3. 履修内容

科目	Italian for foreigners beginner level		
履修期間	9月～1月	単位数	6
授業内容／形態	生徒参加型の授業で、ほぼ毎日グループや個人での課題があった 試験は中間と最終の2回 どちらの試験も筆記で、パワポを使った発表もあった		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Global Governance for Peace, Security, Cooperation and Development		
履修期間	9月～1月	単位数	6
授業内容／形態	基本教授による講義だったが、ディスカッションが行われ、1人2回ある テーマに関する主張を作り、相手とともに議論した 毎週レポートが課され、最終試験は筆記試験だった		
成績	E		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	History of Venice		
履修期間	9月～1月	単位数	6
授業内容／形態	授業は教授によるパワーポイントを使った講義 テストはなく、ベネチアの歴史に関連したテーマを自分で決め、クラスで 発表する 最後はテーマをもう一つ決め、それに関するレポートを提出		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	City and Global Climate Governance		
履修期間	2月～6月	単位数	6
授業内容／形態	教授による講義型 自分である都市や都市ネットワークを決め、レポート及びパワポにまとめて発表した テストは筆記試験		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	国際社会と都市を考える	
	単位数	2	
	担当教員	中西正彦	

科目	Game Theory Analysis of International Environmental Agreements		
履修期間	2月～6月	単位数	6
授業内容／形態	テキストにのった教授による講義型 毎週課題が出された 試験は筆記試験		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Globalization of Firms and Economic Activities		
履修期間	2月～6月	単位数	6
授業内容／形態	教授による講義型 グループワークが多く、時にはクイズという復習の小テストがあった 試験は筆記		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	多国籍企業論	
	単位数	2	
	担当教員	山藤竜太郎	

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	O.R.	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3年	派遣国	イタリア
派遣大学	ベネチア大学		
期間	2022年 9月 12日～ 2023年 7月 1日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Italian for foreigners beginner
講義内容	この講義ではイタリア語の文法や単語など基本を学びました。自己紹介から始めて過去形までを習いました。英語は使われず、イタリア語のみで行われました。
科目	History of Venice
講義内容	この講義ではとても幅広くベネチアの歴史について学びました。ベネチアの運河の法規制に関する沿革やベネチアカーニバルの歴史についても学びました。
科目	Global Governance for Peace, Security, Cooperation and Development
講義内容	この授業の前半は講義形式で、後半からはディスカッションでテーマに関する自分の主張を作り上げて相手の生徒と議論しました。ディスカッションのために毎週レポートを用意して議論者だけでなく全員が主張を作りました。
科目	City and Global Climate Governance
講義内容	この講義では街と街がつながる世界的なネットワークや街の SDGs やグローバルな課題に対する役割を学びました。私は豊田市を選択し、SDGs への取り組みや国際的なイベントなど詳しく調べて発表しました。
科目	Game Theory Analysis of International Environmental Agreements
講義内容	ゲーム理論についてテキストを使いながら様々な例を用いて学びました。国際的な環境合意についてというよりもゲーム理論の基本的な理論を中心に学びました。
科目	Globalization of Firms and Economic Activities
講義内容	この講義ではグローバル化する社会で会社がどのような戦略を実施するのかを学びました。具体的に様々な会社についてグループで調べたり資料を読んだりしました。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

留学当初は、様々な友達を作ることと英語力の向上を重要視していました。なので、積極的にクラスメイトに話しかけたり、予習復習を欠かさずに行っていました。しかし、理解できることが自分の興味のある分野に偏っていたり、強いアクセントを持つ人やとても早く話す人の英語は聞き取ることに苦労しました。話すことも初めは頭の中で文章を作り上げて話したりしていました。留学後半になって、友人関係と英語の基礎が固まってきて同じ友達といろいろなことを話すようになりました。その代わり積極的にみんなに関わろうという意識が薄くなってしまったように感じます。それでもたくさん一緒に話してくれた友達、日本人でも英語をより良くしようと日本語ではなく英語で会話してくれた友達に感謝しています。

日本国外に出てみて、思っていた以上にハードルが低いと感じました。海外は英語が完璧でないとコミュニケーションをとることが困難で、常に危険なことと隣り合わせという印象を持っていました。しかし、海外でも同じように向上心を持った生徒たち、生徒の成長に熱心な教師、フレンドリーな地元の人々と出会いました。思っていた以上に普通に生活できていることにとても驚きました。文化の違いを感じながら、日々新しいことに触れて学び続けることがとても楽しかったです。特に自分の主張は一人一人が持っていて、常に様々な問題について興味をもって学んでいるからこそ主張を持つことができるのだと実感しました。また、海外で暮らすことで日本の残念な点、素晴らしい点に多く気づくことができました。日本の車やアニメなどの影響力の大きさを感じました。しかし、日本の問題意識が甘く、まだ対処されていない問題をほかの国ではかなり重視していたり、デモ活動が起こっていることで痛感しました。以前よりも物事に対して疑問を持つことを大切にし、調べることで自分の意見を確立していけたらと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

10か月の留学生活でスピーキングがかなり成長したと感じています。授業内で参考資料を毎回読んでおり、授業の予習や復習に大半の時間を費やしました。それ以外の時間は友達と遊んだり、旅行に時間を使ったので単語帳を読むなど自分の英語力を上げる時間を取ることができませんでした。基本的な用語からしっかり覚えなおして、TOEICなどで結果を残せるようになっていきたいと思います。グローバルに働けるようにより英語のスキルを向上させていきたいと思います。また、広がった視野を維持しながら様々なことに挑戦していきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

移動手段があまりなく少し不便ですがベネチアはとても美しい街で、様々な国籍の留学生と話をすることができます。イタリア語が話せれば、もっと輪も広まったのではないかと思います。もっと勉強しておけばよかったと思います。たくさん旅行できるという点でEU圏内を選んでよかったと思います。多くの経験ができる素晴らしい1年間になると思うので、ベネチアでの留学はとてもおすすめです。